



長崎市立大園小学校学校だより

令和5年1月12日

「できた！」

No. 24

文責 校長 木下和敏

新たな気持ちで…「初志貫徹」

新年、あけましておめでとうございます。本年が各ご家庭にとって、よい年となりますよう祈念申し上げます。今年もよろしくお願いいたします。

今年の冬休みは、例年より少し長く17日間ありました。1月8日には、北陽小学校区コミュニティ連絡協議会が中心となって行われた「滑石二十歳のつどい」も盛大に開催されました。長崎の冬の催しとして多くの観光客が足を運ぶ「ランタンフェスティバル」も今年は開催されると聞いています。徐々にできるところから日常の生活を取り戻していっているように感じます。

1月には、ランニング記録会を計画しています。目標として「自分の目標の達成のために意欲的に体力作りを行う態度を養うこと。」「目標の達成に向けて、記録会当日までの過程を大切にし、友達とふれ合ったり、励まし合ったりしながら、継続した取組を行うことができるようにすること。」をあげています。体調面には十分留意していきたいと思いますので、ご家庭での体調管理と励ましをお願いします。

市内では新型コロナウイルスの第8波とともにインフルエンザの流行も見られるようです。本校でも例外ではありません。手洗い・マスクの着用、人混みを避けるなどの感染予防対策をお願いします。

【3学期始業式 校長講話から（一部抜粋）】

お正月は、日本に昔から伝わるとても大切な行事の一つです。お正月には、日本中のすべての家庭に「年神様（としがみさま）」と呼ばれる神様がやってきて、その年の農作物が豊かに実るように、そして、家族のみんなが健康で元気に暮らせるように約束してください。その神様が来てくださることをお祝いするのが「お正月」なのです。鏡餅や注連縄を飾ったりするのは、その神様をお迎えするための準備となります。「あけまして おめでとうございます。」という言葉には、近所や知り合いの人たちと、「今年も年神様が、来てくださって良かったね。」「無事に年神様を迎えることができておめでとう。」と、神様が来てくださったことを、共に喜び合うという思いが込められていることがわかります。

いよいよ、令和5年、夢に向かってジャンプできるうさぎ年の一年がスタートしました。干支でいうと「みずのとう」と言います。「これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するような年になる」と言われています。「一年の計は元旦にあり」と言われます。みなさんも新しい年を迎えた今、「今年は、こんな自分になるぞ!」という自分なりの夢・希望をしっかりと抱き、その実現に向けて取り組む具体的な目標・内容を自分なりに立ててください。目標・内容を立てるポイントは、毎日続けられることです。続けることで、必ず、自分の力になっていきます。みなさんの中には、もう、すでに今年の目標を立てたという人もいますが、まだ立てていない人は、お家の人と相談して、自分なりの夢・希望を決めてください。

「最初に決めた志を最後まで持ち続けて努力する」という意味を持つ言葉に「初志貫徹（しょしかんてつ）」という四字熟語があります。「当初、自分の心にしっかりと決めた夢や意志を、成し遂げるまで貫き通す」という困難にも負けず努力を続ける強い心を表しています。この言葉を大切に、みんなで頑張っていきましょう。

2学期の終業式でも話しましたが、3学期は、一年間のまとめの学期であると共に4月の進級・進学に向けた準備を行う学期です。6年生にとっては、小学校生活最後の学期となります。決して悔いが残らないように何事にも全力で取り組んでいってください。1～5年生のみなさんも、今の学級のお友達との楽しい思い出をたくさん作ることができるよう、一人一人はみんなの学級生活が楽しくなることを考え、みんなは一人一人が寂しい思いや悲しい思いをしていないか心配りができる生活を大切にしていってください。みなさんの活躍を期待しています。がんばっていきましょう。